

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 秋田泉教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月30日		～ 令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年1月30日		～ 令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に関して、職員間での共有を必ず行っており、こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ適切な支援の提供を行っている。	・AIを搭載したブレインプログラムを活用し、個々の能力によって出題される問題が自動調整。半年ごとに成果をグラフ化し保護者へ共有している。	・職員の質の向上の為、外部研修だけではなく、社内研修、及び職員間での支援についての意見交換などを行っている。今後は、より一層研修の充実を図っていく。
2	家族支援にも力を入れ、保護者と共通認識の下支援を行い、適宜相談にのっている。	・いつでも相談しやすいよう、LINEやシステムのメッセージ機能を用いて保護者様と頻繁にやり取りを行っている。 ・来所が難しい保護者の方には、電話や訪問などで相談に乗っている。	・周知活動は行っているが、今後定期的にSNSなどを利用し、研修の情報、相談の受付などを発信していく。 ・相談支援事業所だけでなく、様々な関係機関との連携を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の中で他のお子様と活動する機会を提供することが今のところ出来ておらず、地域移行、地域連携が不十分。	・開所から間もなく、地域にまだ根ざしていない。 ・地域の方との交流の機会を提供したいとは考えているが、どのようにして取り組むか等案が少ない。	・イベントの一環として、地域の中で活動できるイベント開催を検討する。 ・地域の方々に、事業所のことを知ってもらい機会を作っていく。
2			
3			